１学期後半（６月・７月）ユニット

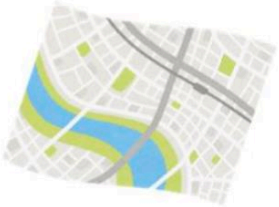
【Where we are in place and time／わたしたちはどのような場所と時間にいるのか】　『時間的、空間的位置』を“たんQ”!!

セントラルアイデア

人は、それぞれの時代と場所で豊(ゆた)かさをもとめて生きている

Where we are in place and time

私たちはどのような場所と時代にいるのか



【探究の対象】

空間と時間における位置づけ

私たちはどのような場所と時代にいるのか	探究の対象：空間と時間における位置づけ／個人の歴史／故郷と旅／人類による発見、探検、移住／地域社会とグローバルの観点から見た個人と文明の間の関係およびそれらの相互のつながり

れいわ6年ど 第3学年 たんきゅうユニット
Where we are in place and time
～わたしたちはどのような場所と時間にいるのか～
『時間的、空間的位置』を“たんQ”!!

コミュニケーションができる人 Communicators

考える人 Thinkers

人は、それぞれの時代と場所で豊かさをもとめて生きている

国語

社会

算数

理科

道とく

＜こじん・チームでたんきゅう＞

【Where we are place in time ／ わたしたちはどのような場所と時間にいるのか】
『時間的、空間的位置』を“たんQ”!!
自己ひょうかシート
『たんきゅう の まなび を ふりかえろう!』

3年 ＿＿組 ＿＿番
名前
（ ）
＿＿月 ＿＿日（ ）

今日 とりくんだ Line に ○ をしよう！

Line 1	
Line 2	
Line 3	

人は、それぞれの時代と場所で豊かさをもとめて生きている

特ちょう

Line1【とくちょう】自分の時代のゆたかさ

			ふりかえり（しらべてわかったこと・考えたこと・つぎにやりたいこと）
ちしき	「ゆたかさ」には どんな いみ が あるのか知ることができた。		
考え方（とくちょう）	「とくちょう」という考え方で 「ゆたかさ」について 考える こと が できた。		
思考（しこう）スキル	自分たちの時代の「ゆたかさ」について、発見することができた。		
リサーチスキル	さまざまなじょうほうから、「ゆたかさ」について調べて まとめることができた。		

変化

Line2【変化】そ父母の時代のゆたかさ

			ふりかえり（しらべてわかったこと・考えたこと・つぎにやりたいこと）
ちしき	おじいさん、おばあさんの時代の「ゆたかさ」を 調べることができた。		
考え方（変化）	かこからげんざいの「ゆたかさ」について、くらべながら、考えることができた。		
コミュニケーションスキル	おじいさん、おばあさんと「ゆたかさ」についてインタビューしたり、話を聞いたりして調べることができた。		
リサーチスキル	さまざまなじょうほうで、かこのゆたかさについて調べてじょうほうを考えることができた。		

責任

Line3【せきにん】これからの時代のゆたかさ

ちしき	かこ、げんざい、みらいにそれぞれの「ゆたかさ」があることを知ることができた。	
考え方（せきにん）	それぞれの時代の「ゆたかさ」を調べたことから、未来の「ゆたかさ」について自分の考えをもつことができた。	
思考（しこう）スキル	未来の「ゆたかさ」について、自分なりの考えをもつことができた。	
じこかんりスキル	どのような「ゆたかさ」が未来をよりよくするかを自分なりに考えて、話しあうことができた。	

パフォーマンスかだい

あなたは、「ゆたかな社会プロジェクト」のメンバーの一員です。10年後の2034年、人々が「ゆたか」に生きていくことができる社会を目指します。これまで、過去、現代の「ゆたかさ」について考えてきました。

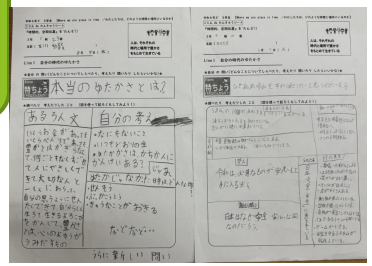
1. 10年後の未来で、自分が大切にしたい「ゆたかさ」は何か。
2. そのためには、何が必要か。

この2つについて、これまで探究してきた、人々がもとめる「ゆたかさ」をもとに、アイディアをていあんしよう！

3年　　組　　ばん 名前（　　）

本ユニットの流れ

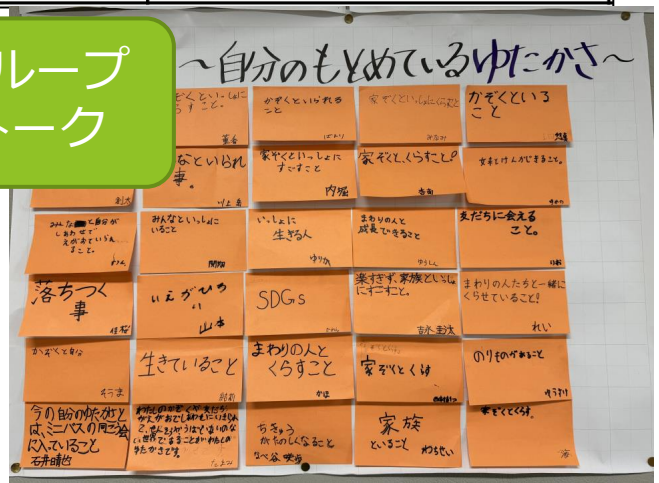
個人探究
インタビュー



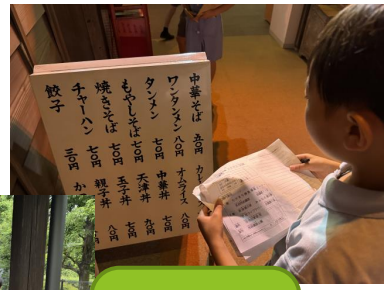
Form
特ちょう
（それはどんなもの？）

Line1【とくちょう】自分の時代のゆたかさ	
ちしき	「ゆたかさ」には どんな いみ が あるのか知ることができた。
考え方（とくちょう）	「とくちょう」 という考え方で 「ゆたかさ」について 考える こと が できた。
思考（しこう）スキル	自分たちの時代の「ゆたかさ」について、発見することができた。
リサーチスキル	さまざまなじょうほうから、「ゆたかさ」について調べてまとめることができた。

グループ
トーク



Change
変化
（どう変わっているの？）



文化館
見学

Line2【変化】そ父母の時代のゆたかさ	
ちしき	おじいさん、おばあさんの時代の「ゆたかさ」を 調べることができた。
考え方（変化）	かこからげんざいの「ゆたかさ」について、くらべながら、考えることができた。
コミュニケーションスキル	おじいさん、おばあさんに「ゆたかさ」についてインタビューしたり、話を聞いたりして調べることができた。
リサーチスキル	さまざまな方ほうで、かこのゆたかさについて調べてじょうほうをえることができた。

七輪
体験

Responsibility
責任
（私たちは何をすべき？）

Line3
これからの時代の豊かさ

本時以降、パフォーマンス課題を示して、Line3に入ります！

本時は、
ここです！

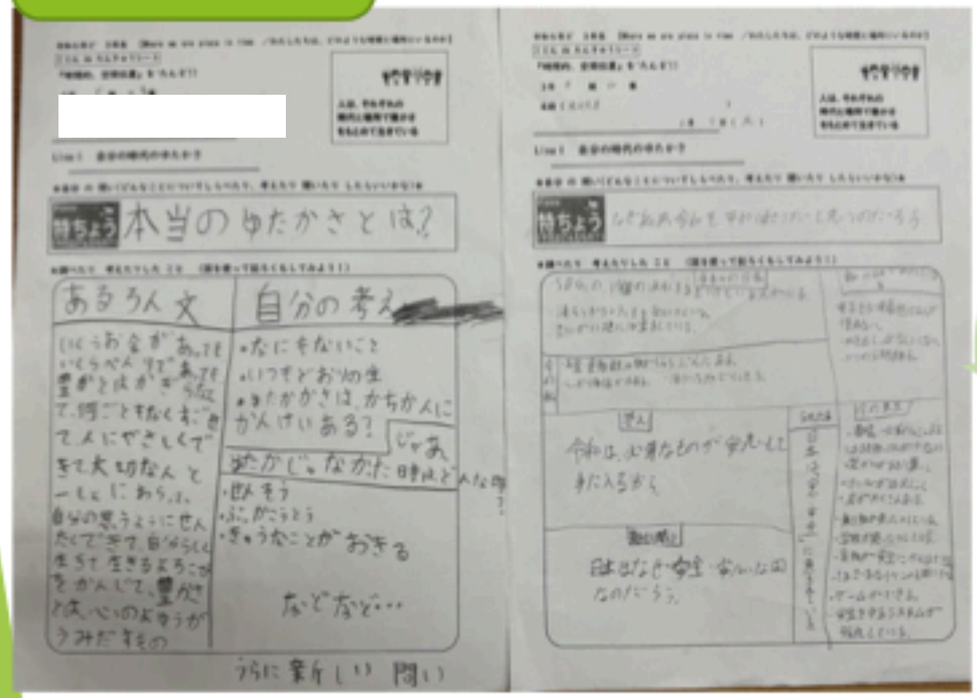
Line 1

Form

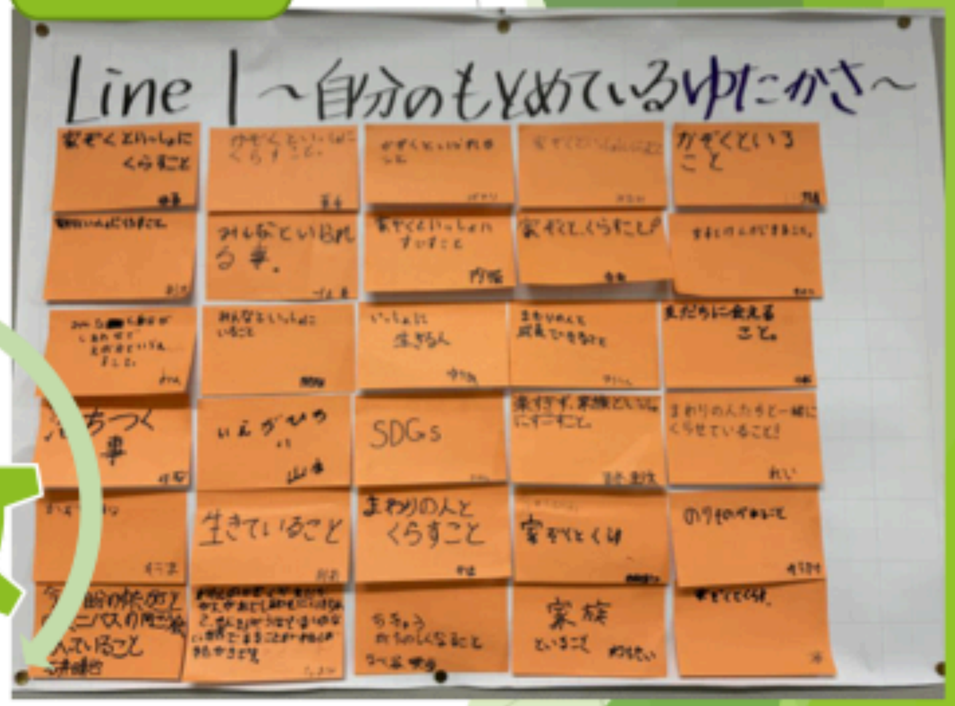
特ちょう
（それはどんなもの？）

Line1【とくちょう】自分の時代のゆたかさ	
ちしき	「ゆたかさ」には どんな いみ が あるのか 知ることができた。
考え方（とくちょう）	「とくちょう」という考え方で「ゆたかさ」について 考える こと が できた。
思考（しこう）スキル	自分たちの時代の「ゆたかさ」について、発見することができた。
リサーチスキル	さまざまなじょうほうから、「ゆたかさ」について調べてまとめることができた。

個人探究
インタビュー



グループ
トーク

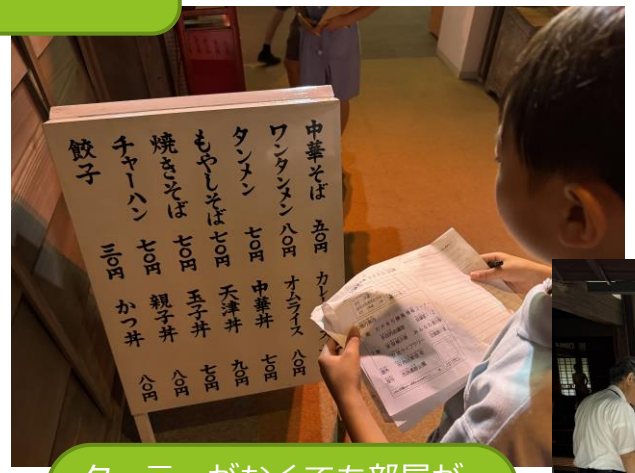


探究のサイクルを回す

Line 2

Line2【変化】そ父母の時代のゆたかさ	
ちしき	おじいさん、おばあさんの時代の「ゆたかさ」を 調べることができた。
考え方（変化）	かこからげんざいの「ゆたかさ」について、くらべながら、考えることができた。
コミュニケーションスキル	おじいさん、おばあさんに「ゆたかさ」についてインタビューしたり、話を聞いたりして調べることができた。
リサーチスキル	さまざまな方ほうで、かこのゆたかさについて調べてじょうほうをえることができた。

文化館見学



クーラーがなくても部屋が涼しい。井戸の水は、夏は冷たい。今は氷入れないとぬるい。自然を生かす工夫があった。そこに豊かさを感じる。

七輪体験

炭焼きはすごく大変だったけど、それをしたからこそ、本当の美味しさに気づけた。
そこが豊かだと思う。

実体験を通して、考える。

授業を見合う会 3年部の重点

今回のテーマ

探究ユニットにおける教科と探究のあり方

みなさんの学年では、ユニットの中で、教科がどのように位置づいているでしょうか？3年部ではセントラルアイディアの理解を深めるべく、教科の学びを位置付けています。
しかし、教科の本質的な学びがセントラルアイディアの理解を深めることにつながる教科の単元もあれば、そうでない教科の単元もあります。教材の内容がセントラルアイディアの理解を深めることにつながるのであれば、ユニット内に位置付けて良いものなのか？みなさんは、どうお考えでしょうか？

本時の授業の概要・協議してほしい点

3きく「社会」

社会科で、「つかみ、調べ、まとめる」ことで、セントラルアイディアの理解が深まるのではないかはないか！先生方と一緒に考えたいです。

3うめ「国語」

河口Tセントラルアイデアの理解を深めるべく、「教材の内容」でユニット内に位置付けてみました！
このようなユニットデザインとユニット内における教科の学び、いかがなものでしょうか？

3ゆり「国語」

Line1で暮らし,学校,道具,遊び,ファッションという観点で調べました。学習材「こまを楽しむ」から様々な種類のこまを知り,実際に様々なこまで遊ぶことを通して,セントラルアイデアの理解を深めることを目指しています。

3ふじ「探究」

Line1・2を踏まえて、Line3への繋げ方や1時間の探究の授業の流し方が妥当かどうか基本的な所を見ていただきたいです。

人は、それぞれの
時代と場所で豊かさ
をもとめて生きている

CIの理解を深めるために社会科では…。

単元の目標

昔の道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子について調べ，人々の生活の様子が道具とともに移り変わってきたことや，人々の暮らしの中の知恵や工夫，願いについてとらえることができるようにする。

単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
昔の道具や地域の人々の生活の変化に関心をもち，意欲的に調べることを通して，人々の暮らしの中の知恵や工夫，願いについて考えようとしている。	昔の道具や写真などの資料から学習問題を見いだして追究し，人々の生活の変化や人々の願いについて考え，適切に表現している。	昔の道具やそれらを使っていた頃の生活について，必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	人々の生活の変化がわかるとともに，その背景には暮らしの向上への人々の願いや努力があったことを理解している。

つかむ

○練馬区の様子の変化はどのように変わってきたのだろう。

～昭和２２年ごろの練馬区の地図と現在の練馬区を比べて

・練馬区は、畑だらけで、川のそばには、田んぼがあったのに、今はない畑が多い。
・高速道路がない。電車も２線だけ。
・〇〇町という名前が多い。
・今は、ほとんど住宅地。

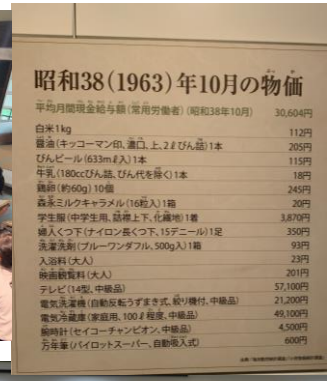
～おじいさん、おばあさんの時代と比べて

・生活のしかたが違うのでは？（使う道具など）

Form
特ちょう
（それはどんなもの？）

調べる

○ふるさと文化館の見学～探究見学～



おじいさん、おばあさんの時代のくらしは、どんな様子？今と比べて…。

使い方を調べたのに、うまくいかないのは？

まずは、七輪を体験！

今も、七輪ってあるよね？

Change
変化
（どう変わっているの？）

調べる

○昔の道具のうつりかわり

～道具のうつりかわりを調べることで、おじいさん、おばあさんの時代のくらし、求めているもの、ゆたかさが見えてくるかも…。

まとめる

本時へ

経験しないと昔の人の気持ちがわからない。そんなことを思わせてくれる、大事な機会でした。

Unit title「私たちがつなぐ過去から未来」

TDT：Where we are in place and time　空間的・時間的な位置づけ

Central idea：「人はそれぞれの時代と場所で豊かさを求めて生きている。」

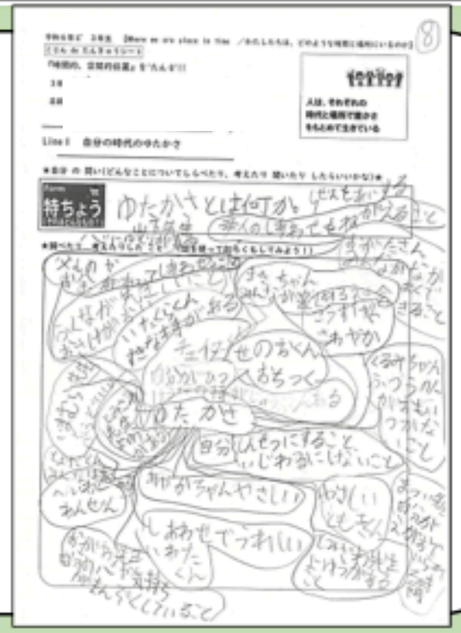
Key Concept：Form 特ちょう（それはどんなもの？）　Change 変化（どう変わっているの？）　Responsibility 責任（私たちは何をすべきか？）

子供の姿・教師の見取り　イギリスから帰国，４月に入級。友達を作ることに意欲的で一般学級の友達とも積極的に関わっている。探究の学習については前 Unit　Who we are　人間であるということの意味「人はつながりの中で，それぞれの価値観をもって生きている。」に初めて取り組んだ。問いを立てるのは難しかったが，問いを立てて，先生や友達，他学年の子供たちにインタビューをして調べていくことを楽しんだ。パフォーマンス課題の会議について，人生初めての会議に出ることを楽しみに意欲的に取り組み，調べたことを keynote にまとめて，発表することができた。今回の Unit は彼女にとってはニつ目の Unit である。

Form 特ちょう（それはどんなもの？）

Lines of inquiry　①自分の時代の豊かさ

問い①：時代とは何か。（日本）
問い②：時代とは何か。（イギリス）
問い③：平成・令和の暮らしはどんなものか。
問い④：平成・令和の学校はどんなものか。
問い⑤：平成・令和の道具はどんなものか。
問い⑥：平成・令和の遊びはどんなものか。
問い⑦：平成・令和のファッションはどんなものか。
問い⑧：豊かさとは何か。



Change 変化（どう変わっているの？）

Lines of inquiry　②祖父母の時代の豊かさ

問い①：七輪は，今はどんな道具に替わっているのか。
問い②：平成・令和の暮らしはどんなものか。
問い③：七輪でどのように物を焼くのか。
（学習継続中）

パフォーマンスかだい

あなたは、「ゆたかな社会プロジェクト」のメンバーの一員です。10年後の2034年、人々が「ゆたかさ」に生きていくことができる社会を目指します。これまで、過去、現代の「ゆたかさ」について考えてきました。

1. 10年後の未来で、自分が大切にしたい「ゆたかさ」は何か。
2. そのためには、何が必要か。

この2つについて、これまで探究してきた、人々がもとめる「ゆたかさ」をもとに、アイディアをていあんしよう！

Responsibility 責任（私たちは何をすべきか？）

Lines of inquiry　③これからの時代の豊かさ

自分が大切にしたい豊かさについて考え，何が必要かを提案する。

探究国語　学習材：「こまを楽しむ」安藤　正樹（光村図書３年上）

◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア）
◎段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えることができる。（思・判・表 C(1)ア）
○段落の役割について理解することができる。（知・技(1)カ）
○目的を意識して，中心となる語や文を見付けることができる。（思・判・表 C(1)ウ）

①こまを回して遊ぶことは，昔から世界中で行われてきました。長い間，広く親しまれるうちに，こまには，さまざまなくふうがつみかさねられてきました。

今は普通のこまが売られていることが多いけれど，昔はいろいろな種類のこまが使われていることが分かりました。雪のためにもこまを作っていることに豊かさを感じました。（第１時感想）

①文章を読んだ感想を交流する。

好きなこま　色がわりごま
おもしろいこま　さか立ちごま
豊かさを感じるこま　ずぐり

「問い」と「答え」が分かったよ。

文章は「はじめ」「中」「おわり」などの大きなまとまりに分けられるよ。

問いは二つあるんだね。どんな種類のこまがあって，どんな楽しみ方があるのかな。

「はじめ」に問いが書いてあったよ。「中」を読むと，こまの種類が分かるんだね。

②文章全体の組み立てを知る。

本時はここ！

ずぐりが一番豊かさを感じられると思いました。どうしてずぐりが一番豊かさが感じられるかというと，別に雪の中でこまをしなくてもよいと思うからです。たとえば雪だるまとか作れるのにわざわざ雪のためのこまを作るという意味は，みんながすごくこまが好きという意味だと思ったからです。（第2時ふりかえり）

③こまの種類と楽しみ方を読む。

色がわりごまは，回っているときの色を楽しめるね。色を楽しむところに豊かさを感じるな。

ずぐりは，雪の上で回して遊ぶんだね。雪の上でもこまで遊ぶなんて，豊かさを感じるよ。

日本には，様々な種類のこまがあるけど，イギリスにはたたきこまと糸引きこまがあったよ。

④イギリスのこまと比べる。

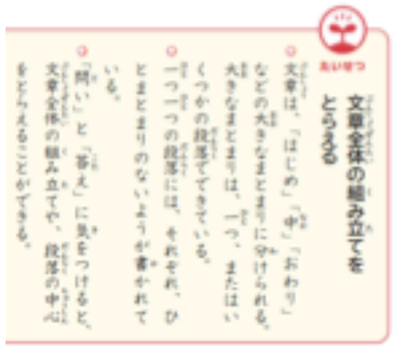
⑧人々は，このつくりにくふうをくわえ，回る様子や回し方でさまざまな楽しみ方のできるこまをたくさん生み出してきたのです。

人々は，昔からどんな場所でもこまを回すことを楽しみました。様々な楽しみ方のできるこまをたくさん生み出し，遊びを楽しむ時間を大切にしました。暮らしを豊かにしたのです。

⑤自分なりの終わり（まとめ）を書く。

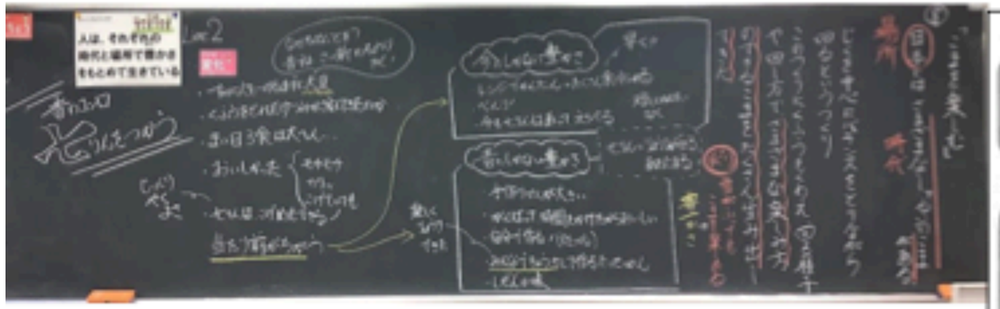
【3年うめ組公開授業】

セントラルアイデアの理解を深めるべく、「教材の内容」でユニット内に位置付けてみました！
このようなユニットデザインとユニット内における教科の学び、いかがなものでしょうか？



こまを楽しむ本文を掲載

こまを楽しむ



「ふるさと文化館見学」や「七輪の餅焼き体験」では、昔と今で豊かさに違いがあることを実感してきました。本授業では、この「こまを楽しむ」の説明文から、様々な時代、様々な場所のコマの特徴に着目（個人探究）し、昔と今のコマ、いろいろな場所のコマに、人がどんな豊かさを求めているのか考えることを通して、不易な豊かさもあることに気付かせたいのでございます。